

## 自主財源の発掘について

梅村 彦一議員



**問** 高島市の財政は非常事態と言われている。これは国を始め全国自治体の共通した悩みである。そこで財源不足解消に向けて2つの提案をする。

① 有料広告事業。これは市の保有するあらゆる資産を広告媒体として有効活用する事業で、民間とのタイアップによるこの事業は高島市の新たな財源を確保し、市民サービスの向上及び地域経済の活性化が図れる。

② 市職員による「アントプレナーシップ事業」。これは職員の新たな発想や自発的な取り組みにより新規事業の立ち上げを促進するとともに職員の意識改革や組織の活性化を図ることが出来る。当局の所見を伺う。



### 総務部長

**答** ご提案いただきました広告事業の取り組みは、新たな財源確保と地域経済活性化に有効な手段の一つと思慮いたします。関係部局と充分検討し、前向きに取り組みます。  
アントプレナーシップ事業につきましても、職場の意識改革や活性化につながると考えておりますので、検討してまいります。

## 教育行政基本方針について

石田 哲議員



**問** 第一に「高島市生涯学習基本計画」は策定出来ましたか。住民が参加・参画出来る所に意義があります。地域胎動の原点です。第二に生涯学習施設間の連携について、公民館、図書館、文化ホールの連携と強化策を問う。

成の観点から各種団体の活動実態と教育委員会としての関与について問う。

第五に今般の広島や宇治の事件に対しあつてはならない事件が起ってしまった、高島市の児童の安全対策について具体的な行動や学校安全対策について市民に公表を。



第三に社会体育振興政策で質を落とさないで整理統合するようですが具体的に来年度の計画を示して下さい。  
第四に地域の教育力の強化と青少年健全育

第一の生涯学習基本計画は、社会教育委員会等で検討を重ね、基本方針について答申を受けた後、これを踏まえて生涯学習基本計画策定を進めて参ります。  
第二の生涯学習施設間の連携は、館長会議等で、施設の整合性を

図り、連携について協議しています。  
第三では旧町村の社会体育振興策を整理し、各地域の良さを市全域に広げること等を考えています。  
第四では市内の子ども会や青年協議会等の組織で、青少年の健全育成に取り組んでいます。

第五については教育行政基本方針により各団体に支援を行っていきます。また、子ども達の安全・安心については、スクールガードやPTA等の働きかけを通して安全確保に努めます。

